

有珠山の火山活動解説資料（令和2年11月）

札幌管区気象台
地域火山監視・警報センター

火山活動は静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。
噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）の予報事項に変更はありません。

○活動概況

- ・噴気などの表面現象の状況（図1-①～④、図2）
監視カメラによる観測では、山頂火口原からの噴気の高さは火口縁上概ね100m以下で、噴気活動は低調な状態です。
- ・地震及び微動の発生状況（図1-⑤、図3）
火山性地震は山頂火口原直下で発生しました。地震回数は少なく、地震活動は低調な状態です。火山性微動は観測されていません。
- ・地殻変動の状況（図4～5）
GNSS連続観測及び10月に実施した繰り返し観測では、火山活動の高まりを示すような変化は認められません。

この火山活動解説資料は札幌管区気象台のホームページ(<https://www.jma-net.go.jp/sapporo/>)や気象庁のホームページ(https://www.data.jma.go.jp/svd/vois/data/tokyo/STOCK/monthly_v-act_doc/monthly_vact.php)でも閲覧することができます。

本資料で用いる用語の解説については、「気象庁が噴火警報等で用いる用語集」を御覧ください。
<https://www.data.jma.go.jp/svd/vois/data/tokyo/STOCK/kaisetsu/kazanyougo/mokuji.html>

この資料は気象庁のほか、国土地理院、北海道大学及び国立研究開発法人防災科学技術研究所のデータも利用して作成しています。

資料中の地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の『数値地図50mメッシュ（標高）』を使用しています（承認番号 平29情使、第798号）。

今回の火山活動解説資料（令和2年12月分）は令和3年1月12日に発表する予定です。

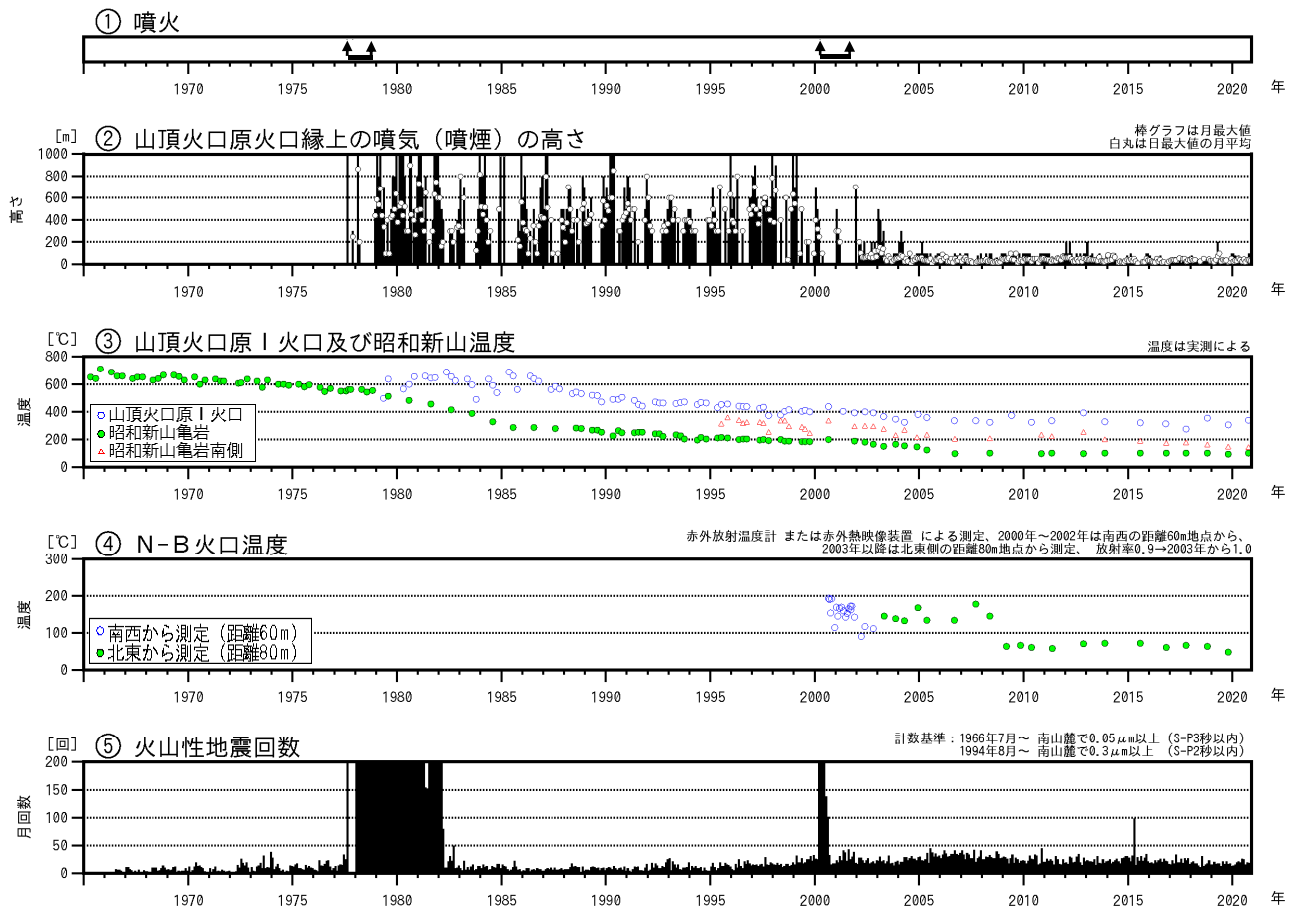


図1 有珠山 火山活動経過図（1965年1月～2020年11月）
 ↑印で挟まれた期間は噴火活動期を示します。



図2 有珠山 北西側から見た山体の状況（11月25日、月浦監視カメラによる）

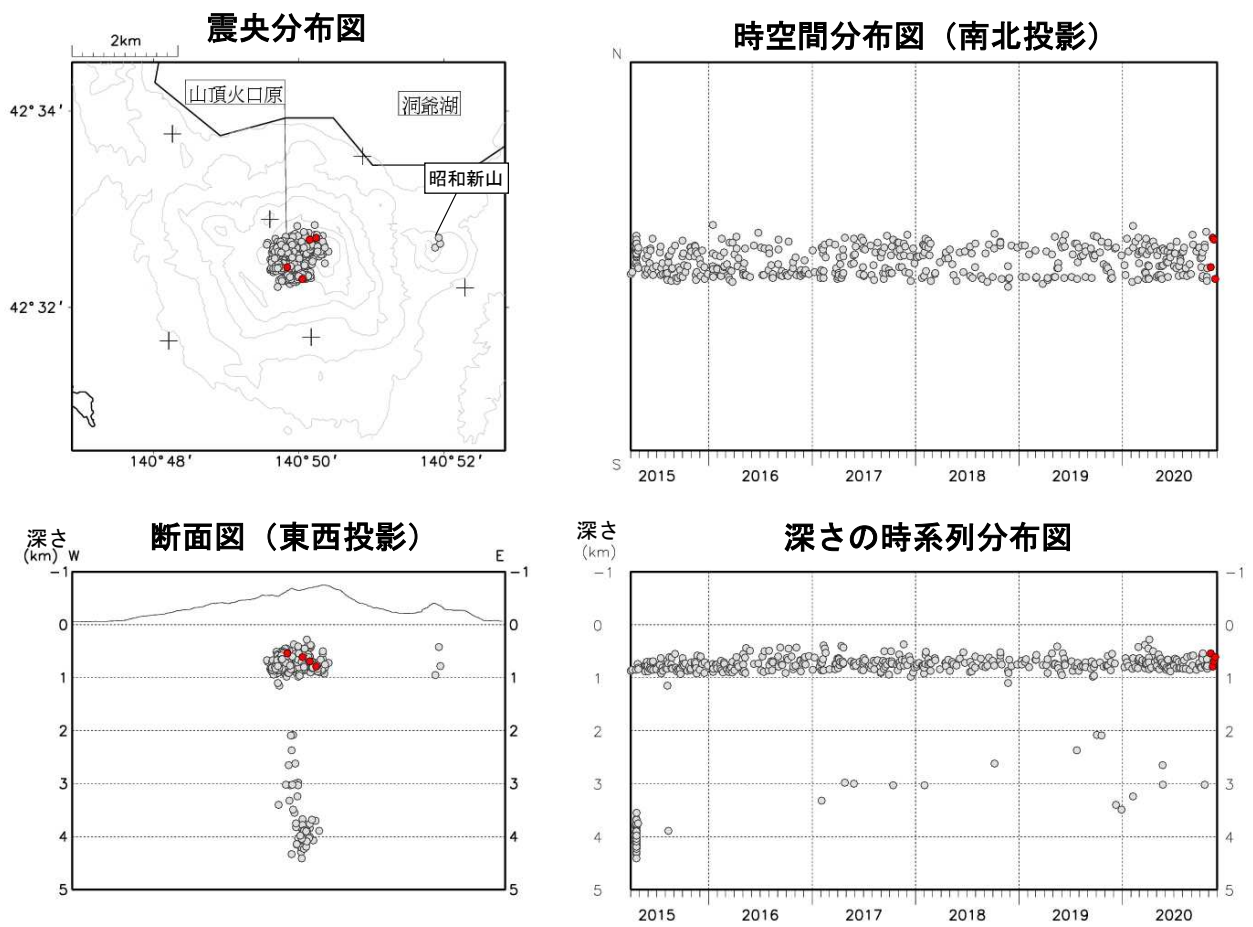


図3 有珠山 火山性地震の震源分布（2015年4月～2020年11月）
 ●印：2015年4月～2020年10月の震源 ●印：2020年11月の震源
 +印：地震観測点

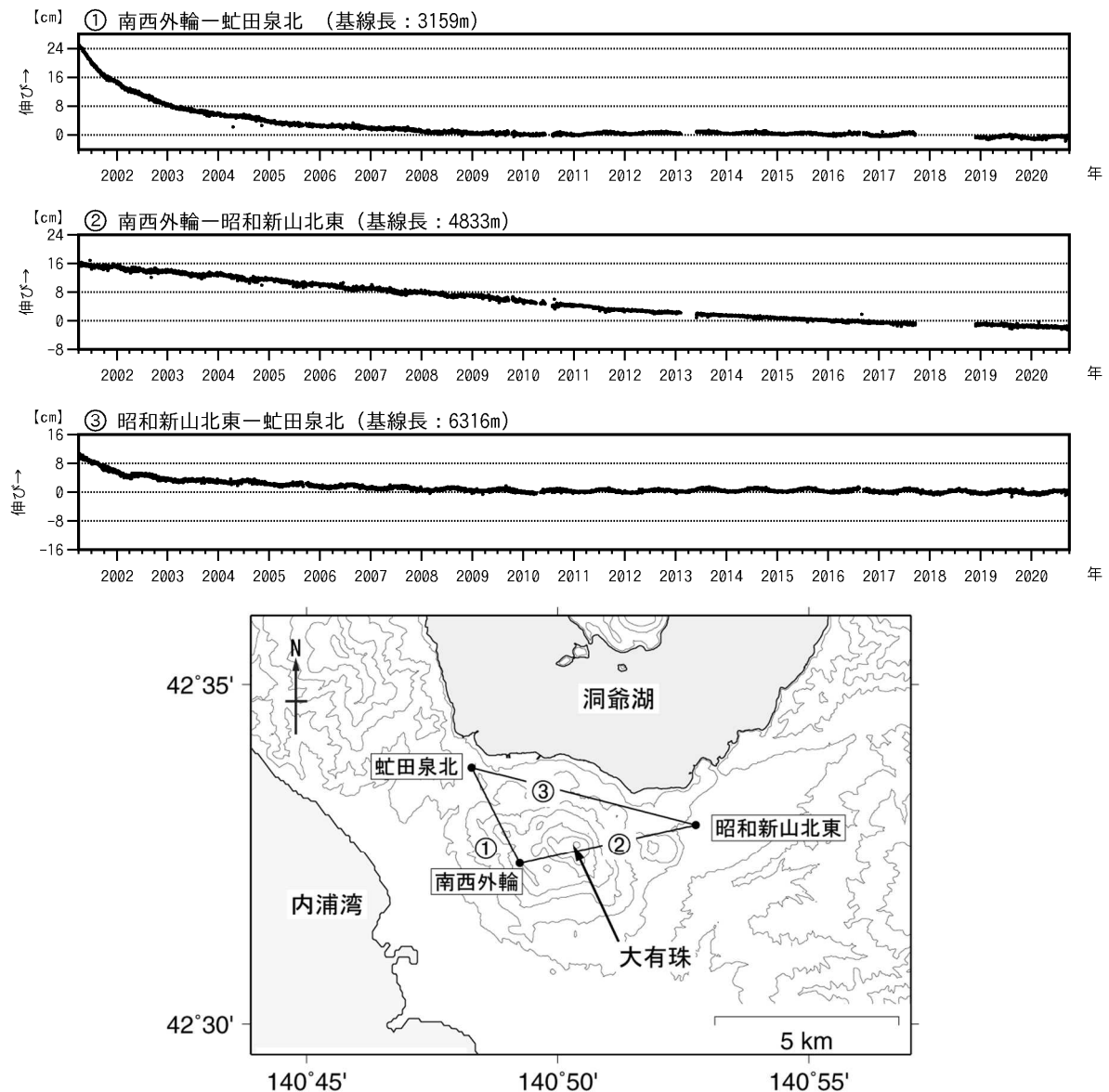


図4 有珠山 GNSS連続観測による基線長変化（2001年4月～2020年11月）及び観測点配置図
 GNSS基線①～③は観測点配置図の①～③に対応しています。
 GNSS基線の空白部分は欠測を示します。
 2010年10月及び2016年1月に解析方法を変更しています。
 ・観測開始（2001年）以降、有珠山山頂部を挟む②の基線での収縮は現在も続いています。

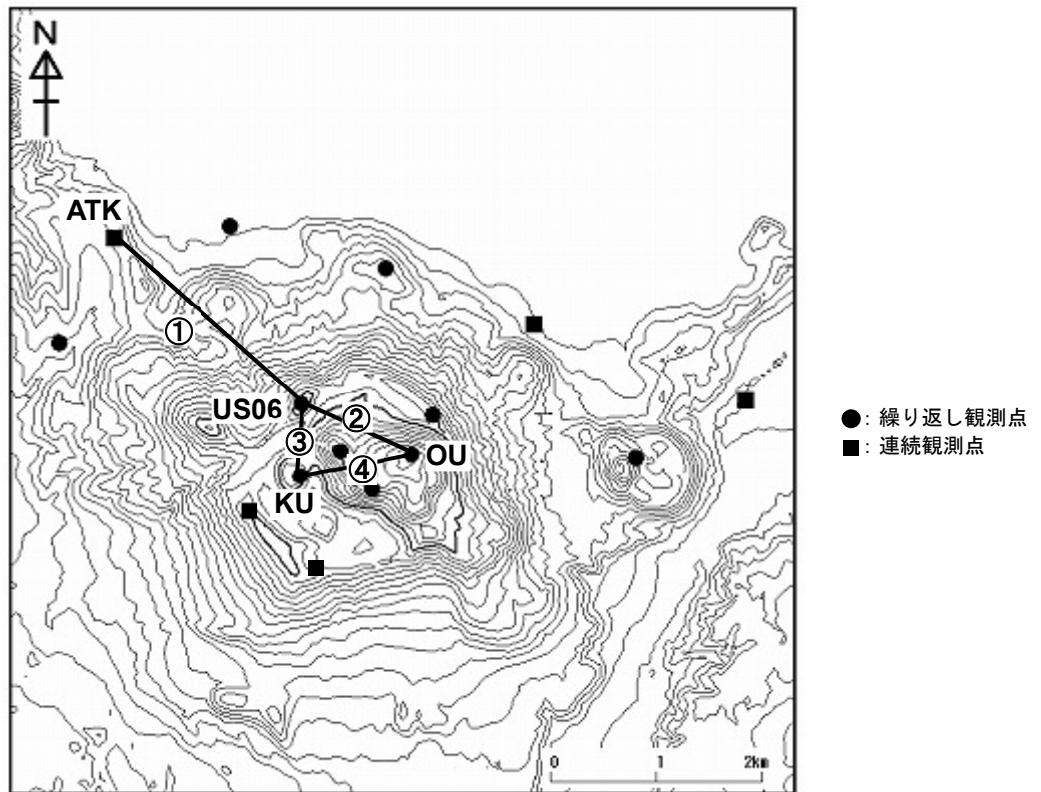
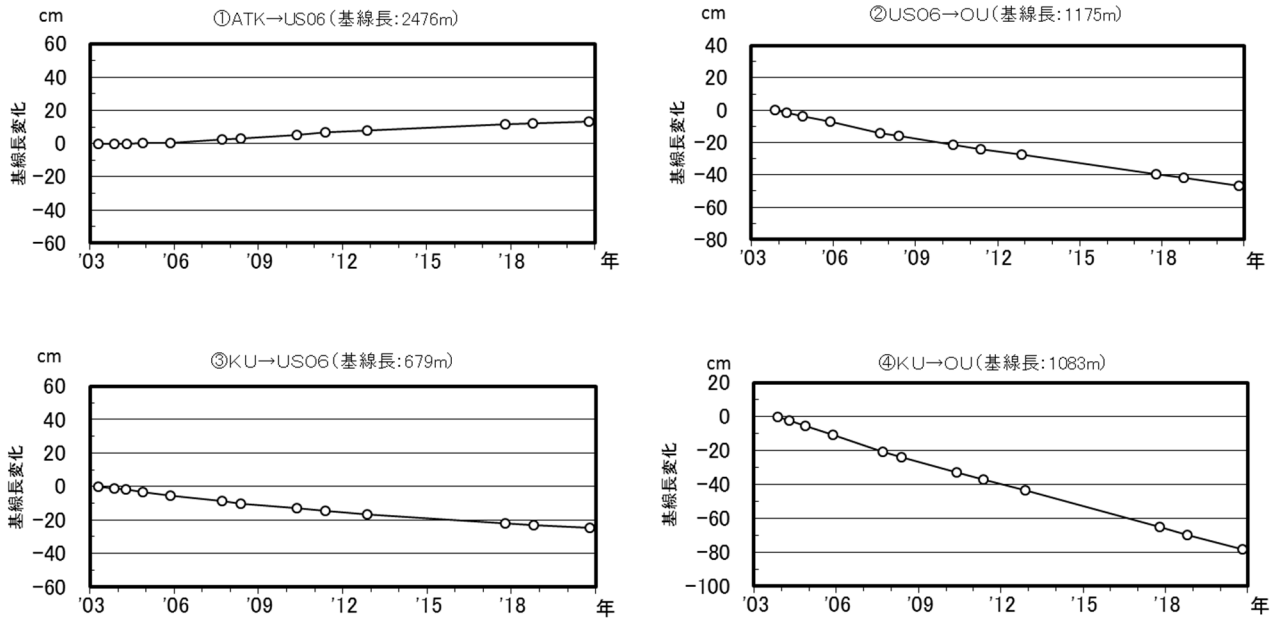


図5 有珠山 GNSS 繰り返し観測による基線長変化（2003年4月～2020年10月）及び観測点配置図
 GNSS 基線①～④は観測点配置図の①～④に対応しています。
 ・GNSS 繰り返し観測では、山頂火口原内の基線で収縮が引き続き認められました。

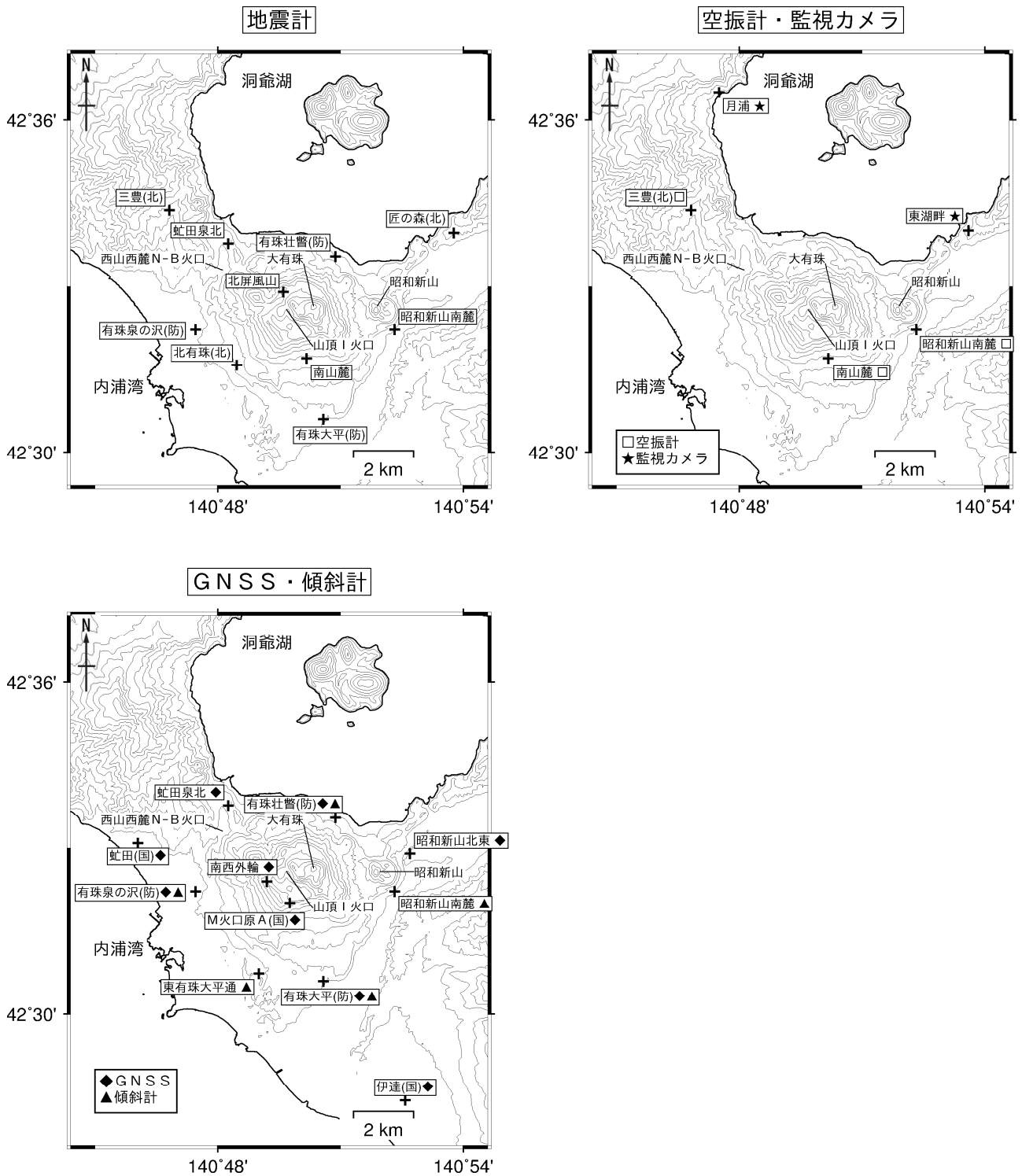


図6 有珠山 観測点配置図

+印は観測点の位置を示します。
 気象庁以外の機関の観測点には以下の記号を付しています。
 (国)：国土地理院
 (北)：北海道大学
 (防)：国立研究開発法人防災科学技術研究所